

## 評価基準及び配点表

## 一次審査基準

評価項目	審査基準	評価	得点		
提案者の受託実績 (50点)	【人口(25点)】受託実績のうち、最大の対象人口を採用し評価する。 A: 20万人以上 B: 10万人以上20万人未満 C: 10万人未満	A	25		
		B	20		
		C	15		
	【受託実績(25点)】 A: 水道事業・下水道事業の両方の実績を有する場合 B: 水道事業・下水道事業のうち、いずれか一方の実績を有する場合 C: 水道事業・下水道事業の実績を有しない場合	A	25		
		B	20		
		C	15		
プロジェクトマネージャーの配置 (30点)	【保有資格(20点)】 A: 次の①・②のいずれかに該当する者を配置する。 ①独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が実施する「プロジェクトマネージャ試験」に合格した者 ②Project Management Institute (PMI) が認定する「Project Management Professional (PMP)」の資格を有している者 B: 上記①・②のいずれかに該当する者を配置しない。	A	20		
		B	10		
	【類似業務に関する実務経験(10点)】 A: 水道事業・下水道事業の両方の実務経験を有している。 B: 水道事業・下水道事業のうち、いずれか一方の実務経験を有している。 C: 水道事業・下水道事業以外の地方公営企業の実務経験を有している。 D: 地方公営企業の実務経験を有していない。	A	10		
		B	8		
		C	6		
		D	4		
		公認会計士の配置 (20点)	【地方公営企業会計制度に関する実務経験(20点)】 A: 水道事業・下水道事業の両方の実務経験を有している。 B: 水道事業・下水道事業のうち、いずれか一方の実務経験を有している。 C: 水道事業・下水道事業以外の地方公営企業の実務経験を有している。 D: 地方公営企業の実務経験を有していない。	A	20
				B	15
C	10				
D	5				

プロポーザル評価基準

評価項目	評価の着目点	配点
各業務の実施方針・考え方		
現行業務フロー等の調査、分析及び課題整理	実施手法について、具体的な工程の記載があり、実現可能なものとなっているか。また、考え方や工程、各工程で使用予定の様式等は、現行業務と課題の可視化が期待できる内容になっているか。	50
現行システムの調査、分析及び課題整理	実施手法について、具体的な工程の記載があり、実現可能なものとなっているか。また、考え方や工程、各工程で使用予定の様式等は、現行システムの状況と課題の可視化が期待できる内容になっているか。	50
課題への対応策検討	実施手法について、具体的な工程の記載があり、実現可能なものとなっているか。また、考え方や工程、各工程で使用予定の様式等は、本市の課題に対応した、適切な業務見直しとシステム化の適用方針の策定が期待できる内容になっているか。	50
情報提供依頼（RFI）の実施支援及び提供情報の分析・評価	実施手法について、具体的な工程の記載があり、実現可能なものとなっているか。また、考え方や工程、各工程で使用予定の様式等は、適切なシステムの情報収集と分析・評価が期待できる内容になっているか。	25
基本構想案の策定	基本構想案の策定方法について、アウトプットイメージが具体的に示されており、実現可能なものとなっているか。また、考え方や工程、各工程で使用予定の様式等は、本市の内部にて意思決定ができる内容になっているか。	50
次期システム構築事業者選定に関する各種資料作成	資料の作成手法について、具体的な工程の記載があり、実現可能なものとなっているか。また、考え方や工程、各工程で使用予定の様式等は、次期システム構築事業者選定の実施が期待できる内容になっているか。	25
プロジェクト管理方法	コミュニケーション管理やリスク管理、ステークホルダー管理等の実施手法について、具体的な工程の記載があり、実現可能なものとなっているか。また、考え方や工程、各工程で使用予定の様式等は、本業務を円滑に遂行できると期待できるものになっているか。	25
スケジュール	スケジュールについて、具体的な記載があり、実現可能なものとなっているか。また、適宜、進捗報告が行われる工程となっているか。	25
業務実施体制等		
受託実績	一次審査基準と同様とする。なお、一次審査が実施された場合には、その評価得点をプロポーザル評価に採用する。	50
プロジェクトマネージャーの配置		30
公認会計士の配置		20

業務実施体制	従事者の実施体制や委託者と受託者の役割分担について、具体的な記載があり、実現可能なものとなっているか。また、プロジェクトを円滑に進められることが期待できる体制になっているか	50
経済性		
価格	価格点 = 50 点 × (最低提案金額 / 提案金額) ただし、提案者が 1 者のみの場合は、価格点を 30 点とする。 ※提案金額が、提案限度額を上回った場合は失格とする。	50
合計		500